

支倉常長フェロー報告書

提出日 2008年8月27日



申請者	氏名	昆 俊亮
	所属・職	加齢医学研究所・助教
出張期間	2010年 8月 14日 ~ 8月 21日	
渡航先	ケアフリー/アメリカ	
渡航目的	学会参加	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Dysregulation of clathrin-dependent traffic predisposes SMAP1-targeted mice to develop myelodysplastic syndrome and acute myeloid leukemia	
得られた成果など	<p>支倉フェローの支援のもと、アメリカ・アリゾナ州・ケアフリーで行われた「FASEB Summer Research Conferences ARF FAMILY G PROTEINS」に参加してきた。低分子量 G たんぱく質である ARF の研究を行っている世界中の研究者が一同に会する貴重な機会であった。参加人数が 70 人ほどと少ない為、毎日顔を合わせ、食事を共にすることにより、最終日には参加者全員を認識できるぐらいになれたことが、大きな学会と比べ良い点であった。</p> <p>私は上記演題のポスター発表を行った。ARF 活性化因子(GAP)である SMAP1 の欠損マウスが骨髄異形成症候群ならびに急性骨髄性白血病を呈することを発表した。当該分野における研究手法は細胞生物学・生化学的なアプローチが主流であり、マウス等個体レベルでの解析は進んでいない為、たくさんの研究者に興味をもってもらい、様々なコメント・質問を受けた。その時に、また oral session でもしばしば議論の対象となったのが、小胞が形成される素過程における ARF GAP の役割である。すなわち、大きなまた単純な疑問として、「ARFGAP 活性は小胞が膜上で形成・出芽されるにあたって必要なのか？」仮にその答えが -yes- の場合、「いつ、どこで GAP 活性が果たされるのか？」ということが未だに明確な答えが得られていないことを改めて実感させられた。今回の学会で得られた知見・アイデアをもとに、その大きな謎解きに少しでも貢献できるよう今後研究を展開していきたい。</p>	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。